

## H26 千葉県中学校総合体育大会 バasketボール大会 総評

第68回千葉県中学校総合体育大会Basketボール大会は、佐倉市民体育館をメイン会場に、7月28日・29日・30日の3日間で行われた。今年度は佐倉市民体育館・千葉公園体育館・千葉県総合スポーツセンター体育館・酒々井中学校の4会場と、広範囲での展開となり、県内各地区の中学生にとって、より県総体を身近に感じられる大会となった。

男子のベスト4には、選手権大会王者前原中(船橋)、県新人のリベンジを狙う君津中(君津)、そして、強豪チームとの戦いに勝利して勝ち上がった佐原中(香取)、辰巳台中(市原)が勝ち進んだ。準決勝の前原中対君津中の対決は、前半、両チームともマンツーマンDefでスタート。トランジションの速い攻防が続き、前原中は④永倉のドライブからのシュートや⑧松岡のインサイド、君津は⑧三幣の3P、⑤鴛田のドライブなどで得点を重ねた。君津中は第2Q途中でゾーンDefに切り替え流れを掴みかけたが、前原中は⑥能瀬や⑧松岡の得点で勢いを引き寄せ、前原中5点リードで前半を折り返した。後半に入ってもお互い速い展開で攻防するが、前原中が⑦保泉の3Pやジャンプシュートなどを中心に徐々に点差を開いていき、74対57で決勝進出を決めた。もう一方の佐原中対辰巳台中の試合は、互いにマンツーマンDefで始まる。佐原中はパスランを中心にオフェンスを仕掛けてリードを広げ、辰巳台中のファウルトラブルも相まって流れが傾きかけるも、辰巳台中④野崎の3Pや1on1で踏みとどまり、前半を29対27の佐原中2点リードで折り返した。3Qに入り辰巳台中がDefでプレッシャーをかけ、佐原中にミスが出始め、パスカットからの速攻で連続して得点を重ね逆転した。4Qに入り佐原中はオールコートDefに切り替えるが、辰巳台中は落ち着いてパスを回し、⑫清水の外角シュートや⑬兼重のポストプレーで加点し20点近く差を広げた。タイムをとった佐原中は勢いのあるバスケットを見せ、佐原中④後藤や⑧伊藤のシュートで5点差まで追い詰める。しかしそのまま辰巳台中が逃げ切り、48対53で決勝進出を決めた。

決勝戦は、28年ぶりの優勝を目指す前原中と10年ぶりの優勝を目指す辰巳台中との対戦。お互いハーフコートマンツーマンDefで始まった。第1Q前原中は⑦保泉の3Pを中心に得点を重ねる。対する辰巳台中は④野崎の3Pやドライブを中心に応戦。第2Qに入り前原中がDefのプレッシャーを強め、④永倉のスティールをきっかけに速い展開で得点を重ねる。辰巳台中は④野崎に対するDefが徹底され得点が伸びず、31対17で前半を折り返す。後半に入っても前原中の勢いは止まらず、厳しいDefからのスティール、速攻を中心にバランスよく攻めてリードを広げる。辰巳台中もインサイドのリバウンド、外角シュートで点差を縮めようとするも、65対50で決着し、前原中学校が28年ぶりの優勝を飾った。敗れた辰巳台中も力強いリバウンドやシュート力を持っており、両チームともに関東大会での活躍が十分期待できる。

女子のベスト4には、新人・選手権を制し総体8連覇を狙う第一シードの昭和学院中(市川・浦安)を筆頭に、第二シードの八木が谷中(船橋)、春のベスト8の福栄中(市川・浦安)、ノーシードながら激戦を勝ち上がってきた習志野四中が顔をそろえた。準決勝の昭和学院中対習志野四中のカード、昭和学院中のゾーンプレス・ゾーンのプレッシャーに習志野四中がターンオーバーを連発し、昭和学院中がパスカットからの速攻や⑦山田の3P、ドライブで徐々に点差を広げていった。第3Qから習志野四中はオールコートマンツーマンDefに切り替え、足を動かしてボールをねらい昭和学院中の点数を抑え始める。習志野四中はオフェンスで⑧相馬のドライブからのシュートで得点を重ねていくが、なかなか得点を縮めることができない。昭和学院中は④佐々木⑥池見⑦山田中心に得点を重ね、必死に食らいつく習志野四中を突き放し、95対64で決勝へ駒を進めた。そして、準決勝もう一試合の八木が谷中対福栄中は、お互いハーフコートマンツーマンのDefでスタートし、簡単に得点を許さないお互い厳しいDefでの立ち上がりとなったが、速攻などで勢いをつけ始めた八木が谷中が1Q中盤から大きくリードした。福栄中がゾーンDefに切り替え八木が谷中も攻めあぐねるが、前半を10点差で折り返した。後半に入り、八木が谷中は⑤高橋の連続得点や⑥北越のジャンプシュートなどで次々と加点していった。八木が谷中はDefでもよく足を動かし7分間得点を許さない厳しいDefを展開した。最終的に八木が谷中が第二シードの実力を見せつけ、28対56で勝利し、決勝進出を決めた。

決勝戦は、昭和学院中は1-2-1-1、八木が谷中はマンツーマンDefで始まった。八木が谷中がパスカットなどから先に得点したが、昭和学院中も落ち着いて試合運び、⑥池見や⑧西江の1on1で得点を重ねリードした。一方八木が谷中も⑤高橋のジャンプシュートや3Pで追いつこうとしたが、ファウルなどもかさみ追いつけず、前半を42対22で折り返した。後半に入り八木が谷中は外角のシュートを打つが、リバウンドが取れず苦しい時間帯が続いた。第4Qに八木が谷中はゾーンプレスを仕掛け、⑥北越の1on1や⑤高橋の3Pシュートも決まりだし点差を縮めたが、昭和学院中も④佐々木や⑥池見を中心に得点を重ね、70対56で追いつがる八木が谷中を振り切り、試合が終了した。昭和学院中が8年連続の千葉県総合体育大会優勝を果たした。敗れたものの、八木が谷中の関東大会での活躍も楽しみである。

男女ともに総体の上位2校は、8月8日から東京都で開催される関東大会に出場する。関東大会では上位4校が全国大会出場の特権を得られるので、千葉県勢が関東大会でも活躍し、この枠の中に入ることを期待している。

尚、関東大会に関する詳細は、8月1日に組合せ会議が行われるので、決まり次第、千葉県Basketボール中学生連盟のホームページに掲載します。

文責 千葉県小中体連Basketボール専門部  
報道委員会 澤村 雅司(行田中)

## 年間ランキング(H25新人戦～H26総体)

(県総体の閉会式後に表彰がありました)

	(男子)	(女子)
第1位	船橋市立前原中学校	昭和学院中学校
第2位	君津市立君津中学校	船橋市立八木が谷中学校
第3位	市原市立辰巳台中学校	船橋市立海神中学校
第4位	船橋市立葛飾中学校	船橋市立船橋中学校

## H25 千葉県県選抜選手

(県総体の閉会式後に表彰がありました)

(男子)		(女子)	
鴫田 星也(君津)	内藤 央哉(高津)	中田穂乃花(旭)	佐々木清夏(昭和学院)
改田 拓哉(湖北)	後藤 恵梧(佐原)	竹下七都芽(大原)	池見 碧衣(昭和学院)
廣瀬 圭右(福栄)	保泉 遼(前原)	高橋 咲(八木が谷)	齋藤 瑠(長生)
小松 史明(習志野五)	平野 瀬乃(ちはら台南)	松岡 侑夏(白山)	前田 晴海(有秋)
庄司 理宇(和田)	渡辺 亮(一宮)	川原 未紀(海神)	菅谷 陽夏(東庄)
田中 隼人(古和釜)	福井 達登(八千代松陰)	篠崎 夢恵(海神)	北越 春香(八木が谷)